

監査委員告示第7号

地方自治法第199条第12項の規定に基づき、市長から定期監査（第二次）の結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので、同項の規定によりその内容を公表する。

令和元年12月26日

松阪市監査委員 西村和浩

松阪市監査委員 加藤恭子

松阪市監査委員 米倉芳周

平成30年度定期監査結果報告書(第2次)に基づく措置の状況

- ◆保育園 監査対象保育園 = つばな、第一、飯南ひまわり、東、大津
- ◆幼稚園 監査対象幼稚園 = 大石、中川、西黒部、阿坂、掃水

監査委員 指摘事項	具体的な内容	措置状況	担当部署
遊具等の安全性の確保について	一部の保育園・幼稚園で、遊具等の塗装が剥げたり錆びている箇所が見受けられた。職員による毎日の点検及び専門業者による定期点検が行われているが、遊具等の安全性の確保を図られたい。	園児の安全確保のため、引き続き、職員による日常点検を確実に実施するとともに、特に塗装が剥げたり、錆びている遊具(箇所)については、速やかに修繕する等、細心の注意を払い点検していくように再度徹底した。また、専門業者に委託している遊具点検についても、点検項目の追加等、これまでより点検内容を強化し、実施することを検討している。	こども未来課
園児の安全の確保について	大石幼稚園では、園庭の一部が職員駐車場として使用されている。駐車場と遊び場の境にはタイヤが置かれていたが、フェンスで囲うなどして園児の安全を確保されたい。	駐車場と園庭の境にネットフェンスを設置(平成30年度中)し、駐車場と園庭を明確に区分することで園児が駐車場に飛び出したり、ボール等が駐車場に入らないよう安全対策を講じた。	こども未来課
適正な予算措置について	消耗品費等の予算不足分が、PTA会費等により賄われている状況が一部の幼稚園、小・中学校に見受けられた。適正な予算措置により執行されたい。	他事業費と同様に事務用品、消耗品等についても、前年度の実績等を元に検証等を行い、各園から必要な額を聞き取ったうえで、各園の実情に応じて予算の配当を行った。年度途中での予算の過不足等については、全体で調整等しながら、効率的かつ効果的に予算執行ができるように努めた。	こども未来課
避難訓練等について	火災、地震、津波、不審者の侵入など避難訓練等は、すべての保育園、幼稚園、小学校、中学校で実施されていた。飯南中学校では、停電であったり、テーブル等を倒しておいて避難路を妨害したり、靴を散乱させておいたりして、災害時に発生しそうな様々な状況を想定して訓練を行っていた。他の園、学校においても訓練等の参考にされたい。	各種災害や不審者等に対する訓練については、保育の現場で実際に起こりうる場面を想定し実施することで、非常時に成果が発揮されるものと捉えている。飯南中学校の好事例を参考にし、市防災対策課等とも連携のうえ、より実践的な訓練等となるように研究等をしていく。	こども未来課

◆小中学校 監査対象小学校 = 中川、第三、西黒部、天白、阿坂、徳和、掃水、花岡
 監査対象中学校 = 東部、嬉野、飯南、中部

監査委員 指摘事項	具体的な内容	措置状況	担当部署
適正な予算措置について	消耗品費等の予算不足分が、PTA会費等により賄われている状況が一部の幼稚園、小・中学校に見受けられた。適正な予算措置により執行されたい。	各小中学校からの要望を基に、令和2年度においては増額要望を行い、適正な予算措置に努めた。また、年度当初の予算執行事務担当者説明会において、各校における予算の適正な執行についても、再度周知を図った。	教育総務課
特色ある学校づくり推進事業委託業務について	特色ある学校づくり推進事業委託業務について、学校管理関連の経費で支出すべきものや教育研修に係る諸経費の研修参加費・資料代等、事業目的にそぐわないと思われる支出が見受けられた。当該事業の目的に合致した支出形態となるよう検討・改善されたい。	年度当初の文書を発出する際や校長会において、実施計画書及び実績報告書等の作成に当たっては、事業のテーマ、内容、成果及び課題を明確に記載するとともに、目的に応じた適切な支出を行うよう周知を図った。	学校支援課
避難訓練等について	火災、地震、津波、不審者の侵入など避難訓練等は、すべての保育園、幼稚園、小学校、中学校で実施されていた。飯南中学校では、停電であったり、テーブル等を倒しておいて避難路を妨害したり、靴を散乱させておいたりして、災害時に発生しそうな様々な状況を想定して訓練を行っていた。他の園、学校においても訓練等の参考にされたい。	校長会等の機会において、飯南中学校のような実際の学校生活で起こりうる場面を想定した避難訓練の好事例を積極的に紹介し、防災教育に係る取組の一層の充実を図った。	学校支援課